

若手トマト農家で合同会社  
スマイルふぁーむ 海津市



左から福島さん、近藤さん、田家さん。「アットホームな直売所を目指している」

海津市海津町の合同会社スマイルふぁーむでは、「食卓を通してたくさんの人に笑顔届けたい!!」をモットーに同市の若手トマト農家3人が集まり、力を合わせて消費拡大に取り組んでいる。

運営するのは、同ふぁーむ代表の近藤康弘さん(37)、経理責任者の田家一衛さん(34)、栽培責任者の福島紳太郎さん(30)だ。

県内最大の冬春トマト産地である海津市の新鮮なトマトを味わってもらいたいと、昨年8月に同ファームを設立。使用していないハウスを借り受け、11月に直売所をオープンした。

直売所では、毎週水曜日と土曜日の正午から午後4時まで営業し、それぞれが代表を務める農園で生産された取れたてトマト約10種類を販売する。

「消費者と直接会うと生の声が聞こえる。良いことも悪いことも大事。集めた情報を大切にして、今後のトマト栽培に活かせる自分たちの考えを持ちたい」と話す近藤さん。

3人のモットーには、食育に対する「学び」もある。直売用ハウスの東隣にある栽培ハウスを活用し、消費者にトマトの栽培を知ってもらえる見学や体験ができる施設に整備していく予定だ。

「たくさんの人に、トマトに、農業に、食に触れてもらえる機会を提供したい。農業に興味を持ってもらうことで食育の一旦を担い、地域・日本の農業の未来に貢献できるのではないかと3人は話す。